

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns: 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for fire prevention activities and budget allocation.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes descriptions of fire prevention activities and staff procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes performance indicators for fire prevention activities over time.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input and personnel costs for 2016, 2017, and 2018. Includes sub-categories like national/county expenditure and personnel costs.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 2017 and 2018. Includes categories like 11 需用費 (Materials).

(4) 当該年度の実施内容

Table showing implementation content for 2018, 2019, and 2030. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	火災予防啓発事業	事務事業No.	40101000665	所属課	生活安全課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 ・合併前から全国火災予防運動に併せてパレードを実施してきた。火災予防キャンペーンは、平成21年に女性消防団が結成されてからその事業として実施されてきたもので、平成23年に住宅用火災警報器の設置が義務化されたことで、火災警報器の設置啓発を重点的にキャンペーンとして実施するようになった。消防署から啓発について依頼されていることもあり、消防署との連携が密になっている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 女性消防団員から、火災予防キャンペーンでの啓発品を充実させてほしいとの要望があった。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子供から高齢者まで広く市民の火災予防意識を向上させることで火災の減少につながり、死傷者も減少する。安全で安心して暮らせる生活環境へ寄与できる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民の火災予防意識の向上は火災減少へ繋がり、それが死傷者の減少へも繋がる。市民の安全安心を守るために市が事業を行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	女性消防団には火災予防を広報する役割が期待できることから、年二回のキャンペーンに加え火災予防に関する様々な啓発活動を行うことができる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民全体へ火災予防を啓発するには、消防署だけでは人手が不足しており十分な広報ができない。消防団が中心となり地元との繋がりを利用し啓発活動を行うことで大きな効果が期待できるし、継続して行うことでその効果を向上させることができる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	キャンペーンの啓発品をなくすと啓発活動に興味を示してもらえない可能性が懸念されるため事業費は削減できない。また、現時点での必要最低限の時間であり、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	火災予防啓発は市民全体を対象としていて、市内全域の火災減少を目的としているため特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎回同じ場所で啓発活動を行っているため、対象が固定されてしまうので、会場を変更していく必要があると感じた。また、女性団員から啓発品を充実させてほしいとの要望があったので、啓発品の検討も進める。女性分団にはさらなる広報活動の役割が期待できるため、新たな啓発事業の展開も検討する必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
年二回のみではなく、市民祭など様々な場所や催しにおいて積極的に啓発活動をしていくことが必要であり、また女性分団にもそういった活動が期待できる。いつ、どこで、どのような催しが行われるのか担当者が情報収集をすることが成果を向上させていく要因となると思う。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>